

第五十四号

青年部報
青広



ホームページ
Facebook

http://fujiyoshida-yeg.jp
http://blog.fujiyoshida-yeg.jp
http://www.facebook.com/fujiyoshidayeg

平成30年 3月 1日

発行責任者

会長 渡辺 威済

編集責任者

理事 倉澤 寿英

この1年を振り返って
会員事業所の皆様へ



第31代青年部会長
渡辺 威済

皆様、口頃は青年部活動に多大なるご協力賜り誠にありがとうございました。とございます。会長の職の中で改めて感じたことを申し上げます。この一年間は「連携継続・未来へ」を掲げて参りました。

地域に対しての貢献方法は二つあります。一つは地域の為に直接に事業を行うこと。ただこれは大事な本業との並行のため時間も継続性も限界があります。そこを克服するには「広く浅く」がキーワードだと思っております。一人の負担は少なくつまり浅く、その分参加する者を増やすつまり広く。その為には青年部内でも連携し、外部の様々な立場で活動している団体、個人との連携が必要です。

また貢献方法の一つは、自分のその本業を頑張ること

です。今の私たちが目指すところは、例えば1000人いる大きな一つの会社も良いですが、小さくても活力のある会社100社、この一社一社に青年部員の会社が先頭きつてなれるよう、そしてそこで得た力、影響を地域に還元することが地域への貢献です。

この青年部発行FLYは富士吉田商工会議所会員事業所約二千社に配布されております。

50歳までの経営者の方、その後継者の方又は会社を代表してのどなたか、一度におよそ70名のこの地域の様々な形で活動している仲間が増える青年部という団体で新たな一人になつて頂き、当事者本人が楽しいと思える中で自分自身と自分の会社の成長そしてこの地域の為の活動を一緒に行っていければ幸いに存じます。末筆ながら、青年部に対して今後とも変わらぬご協力とご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

「下吉田散策紅葉まつり」ご来場ありがとうございました！



実行委員長 武川 哲也

今ではインスタで世界一とも言われている「忠霊塔からの富士山」。春になれば桜祭りで数万人が観光に訪れるスポットとなりましたが、一年を通して忠霊塔を起点にもつと下吉田の街を賑わせることができないものかと考え、秋の紅葉の時期に忠霊塔からの富士山の魅力を発信することを事業として企画してみました。事業内容としては、忠霊塔までのガイドを付けた散策を行い、定員が溢れるほどの参加者にお越しいただけました。そして、下吉田駅横の広場では飲食や模擬店を開き、ここでも多くの参加者と多くの笑顔で会場を埋め尽くすことができました。この事業を開催出来た事で「忠霊塔からの紅葉」の素晴らしさを参加者だけでなく、我々自身も感じる事ができました。最後に、ご協力頂いた有志の方々のおかげで無事成功する事が出来ましたことを感謝申し上げます。

よろしくお願いいたします



天野 博士
S58.3.3生
天野総建

地域貢献のために頑張りたいです。



天野 慎也
S56.5.22生
(株)フォネット

地域貢献できるようがんばります。



土屋 貴光
S52.3.3生
栄光商事(株)

「人は人によってのみ磨かれる」自分の成長と関わる人たちの成長に貢献します。



市川 和恵
S45.8.20生
グリーンレイクリゾート河口湖

富士吉田市の魅力を知りたいです。よろしくお願いいたします。



萱沼 昌利
S53.8.4生
(株)滝口建築

微力ながらも皆さまの助けになればと思います。

新入部員紹介

10月

関東ブロックぐんま沼田大会
(沼田 10/27-28)



11月

甲府えびす
講祭り
(県連事業 11/23)



2月

全国大会
岐阜かがみはら
大会 (2/16-17)



1月

新年例会・懇親会 (1/23)



11月

部員家族懇親BBQ (企画・研修委員会主催 11/5)



11月

県民の日物産展
(小瀬 11/18-19)



12月

会長研修会 出雲の国ご縁会議 (12/1-2)



2月

クロストーク (総務・広報委員会主催 2/14)



総務広報委員会の事業としてクロストークを行いました。

テーマは「跡継ぎはつらいよ」。部員の意外な一面が見ることができ、経営、仕事に対する考え方や悩みなども聞けて交流もより一層深めることができました。

